

## 草津市健幸都市宣言

生涯にわたって心も体も健やかで幸せに過ごせること  
これはわたしたち共通の願いです

心身の健康には 自分の状態を知ること 適度な運動と休養  
バランスのとれた食事など 一人ひとりの取組が大切です  
美しい自然や 住みやすい都市環境も大切です  
そして ともに住む人と人との絆や協働も大切です

くさつは いにしえから 東海道と中山道がまじわる交通の要衝  
宿場町として栄えてきました  
人と人が出会い 心と体を休め 旅の疲れを癒してきました  
琵琶湖・田園などの豊かな自然環境もあり  
そこから得られる恵みも豊富です  
今を生きるわたしたちも この地で 出会いと自然に感謝しながら  
住み続け 訪れることで 健幸になれるまちを  
ともに創造していきましょう

草津市は 生涯にわたって 一人ひとりが自らの健康を大切に  
ともに支え合い ここに暮らすことによって  
絆や喜びが生まれ 幸せが感じられる  
笑顔あふれるまちを目指して  
ここに「健幸都市くさつ」を宣言します

平成28年8月28日

草津市長 橋川 涉

# (仮称) 草津市健幸都市基本計画(案) について

平成28年11月  
草津市

## ■草津市のイメージは・・・

- 大学生等の若い人が多い！
- 引っ越してくる人が多く、人口が増えている！
- 畑や田んぼもあり、野菜をいっぱい食べていそう！



## ■草津市の現状や将来予想は・・・

- 高齢化率は全国平均より低いものの、地域によっては高いところもある
- 人口は増え続けており、しばらく増加の見込みであるものの、地域によっては人が減り始めているところもある
- 野菜を食べる量が少ないなど、生活習慣に課題がある
- 糖尿病に関する項目が、県内平均と比較しても悪い傾向にある
- 国民健康保険では、医療費に占める生活習慣病の割合が大きい



## ■これからの草津市に必要なことは

今後の少子高齢化の進展が予想される中でも、誰もが生きがいを持ち健やかで幸せに過ごせるよう、

### 一人ひとりの日ごころからの心掛け

- ・適度な運動や休養
- ・栄養バランスのとれた食事 など

### 病気や介護の予防の強化

### ハード面からの健康へのアプローチ

- ・出かけたくなるまちづくり（健康づくりに関心がない人も歩いてしまうまちづくり）
- ・仲間とともに健康づくりに取り組みやすい環境の整備 など

### 産業振興、産学公民連携による健康づくりの支援

- ・ヘルスツーリズムを含む健康産業の振興
- ・大学や企業等さまざまな主体と連携・協力した取組の実施 など

➡「健幸都市」を目指そう！

## (仮称) 草津市健幸都市基本計画

### 計画の目的

健幸都市(誰もが生きがいを持ち健やかで幸せに暮らせるまち)を創造するため、全市的に取り組む事項等を定めることにより、健幸都市に向けた取組が総合的かつ計画的に推進されるようにすることを目的とするものである。

### 目指す姿

#### 健幸都市くさつ

～住む人も、訪れる人も、健幸になれるまちを目指して～

### 計画期間

第1期:平成29年度～平成34年度

計画の体系(案)

基本方針	基本施策	施策の内容
まちの健幸づくり (ハード整備)	出かけたくなるまちづくり	① 歩いて暮らせるまちづくり ② 安全安心に配慮した公共空間の整備 ③ 賑わい・うるおいの向上に向けたまちの環境づくり
	交流機会や健康拠点の充実	① 交流機会の充実 ② 健康づくり拠点としての草津川跡地や公園の活用
ひとの健幸づくり (地域・個人)	地域の主体的な健康づくりの推進	① 地域の特性に応じた健康づくり ② 支え合いのコミュニティづくり
	個人の健康づくりの推進	① 全世代に共通した健康づくり ② ライフステージに応じた健康づくり
しごとの健幸づくり (産学公民連携)	地域産業と連携した健康産業の活性化	① ヘルスツーリズムを含むヘルスケアビジネスの育成支援 ② 特産物を活かした健康な食等の推進
	大学・企業等との連携	① 産学公民連携とその仕組みづくり ② 健康に関する情報提供

まちの健幸づくり

従来からの健康施策の枠組みを超え、ハード面からも健康づくりに取り組みます。

出かけたくなるまちづくり

① 歩いて暮らせるまちづくり

- 都市機能や交通網を整えて、コンパクトシティ・プラス・ネットワークを形成し、歩いて暮らせるまちづくりを目指します。

② 安全安心に配慮した公共空間の整備

- 安全安心に配慮した公共空間の整備を進めるため、バリアフリー化やたばこ対策、安全な自転車道の整備等を進めます。

③ 賑わい・うるおいの向上に向けたまちの環境づくり

- 中心市街地の賑わいを取り戻し、まちなかの交流人口の増加を図ります。
- まちの緑化を進め、緑あふれるまちづくりを目指します。
- 郊外部において、地域の産業・資源を活かした取組を進めることを検討します。

交流機会や健康拠点の充実

① 交流機会の充実

- 様々なイベントを開催するなど、出かける機会や交流機会の増加を図ります。
- 空き家を利用した多世代交流や地域交流拠点の創出を図ります。

② 健康づくり拠点としての草津川跡地や公園の活用

- 子どもから高齢者まで、誰もがいつでも気軽に訪れ、健康づくりを行うことができる拠点として、草津川跡地や公園の活用を進めます。



ひとの健幸づくり

地域と個人の視点から、健康づくりに取り組みます。

地域の主体的な健康づくりの推進

① 地域の特性に応じた健康づくり

- まちづくり協議会の健幸宣言の実現に向け、各まちづくり協議会と市が協働して、地域の実情に応じた健康づくりの取組を進めます。

<支援強化の例>

- ・データ分析等による地域ごとの健康課題の把握
- ・保健師による支援

② 支え合いのコミュニティづくり

- 誰もが住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らすことができる「地域包括ケアシステム」の構築を進めます。
- 地域の資源や人材を活かし、地域の課題を解決できる仲間づくりを支援します。



個人の健康づくりの推進

① 全世代に共通した健康づくり

- 健康くさつ21に基づく取組を計画的に推進するとともに、まちやしごとの健幸づくりの取組との連携を進めます。
- こころの健康づくりを強化する観点からも、多様化、複雑化する福祉の相談などに対応できる総合的な相談体制を検討します。
- 健康づくりに取り組むきっかけづくりを更に進めます。

② ライフステージに応じた健康づくり

- ライフステージごとの特徴や課題を踏まえた取組を進めます。
- 特に企業や保険者と連携した働く世代に対する取組や、高齢者の就労・社会参加を通じた介護予防の取組を強化します。



しごとの健幸づくり

産学公民が連携し、健康になれるまちづくりを進めます。

地域産業と連携した健康産業の活性化

① ヘルスツーリズムを含むヘルスケアビジネスの育成支援

- 市の様々な観光資源や農業環境も活かして、ヘルスツーリズムを含む健康産業の育成支援を検討します。

② 特産物を活かした健康な食等の推進

- 身近な農産物のPRを進め、地域産業の活性化や地産地消、野菜摂取量の増加を促す取組など、健康と産業の連携を進めます。



大学・企業等との連携

① 産学公民連携とその仕組みづくり

- 市内の団体や企業、大学とともに、産学公民連携による健幸都市づくりを進めます。
- 労働者の健康増進やワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。

② 健康に関する情報提供

- 各種媒体を利用して積極的な広報活動を進め、様々な団体・企業等と連携して積極的に情報発信を行います。

